

令和5年度 森林環境譲与税 使途の公表

都道府県名	市町村名	事業区分	事業名	事業総額(千円)			当年度基金への積立金(千円)	事業内容	税導入の効果
				(A)+(B)+(C)	(A)うち令和5年度の森林環境譲与税(千円)	(B)うち基金取崩額(千円)			
岡山県	倉敷市	意向調査、集積計画等作成	森林環境保全事業	2,428	2,428			森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査及び意向調査を実施した森林の経営管理権集積計画作成等(森林所有者への同意取得を含む)を民間事業者に委託して実施。	【ワンフレーズ】 森林環境譲与税の活用により、森林所有者への意向調査及び意向調査の結果の統合型GIS(地図上)への反映、治山施設の修繕及び維持管理、普及啓発事業並びに木造公共建築物の整備を実施することができた。 【詳細】 令和5年度は、森林経営管理法に基づき、地域森林計画内の森林において、経営管理を円滑に行うための森林経営管理制度における森林所有者への意向調査(3.36ha)、前年度の意向調査の結果を統合型GIS(地図上)に反映させる意向調査データ整理業務を実施(8.53ha)し、集積計画の策定範囲の特定及び意向調査進捗状況を管理し、今後の森林整備箇所の把握につなげることができた。 また、治山施設の修繕及び清掃等を行うことで、治山施設の機能を回復させ、災害防止・国土保全機能強化を図ることができた。 市の施設である環境学習センターにおいては、自然体験講座の実施により、木材の利用の促進及び森林の有する公益的機能に関する普及啓発に資することができた。 また、平成30年7月豪雨災害からの復興シンボルとして整備した「まびふれあい公園」については、建屋内装に国産材の竹を利用し、木材の利用の促進に資することができた。 令和5年度の森林環境譲与税額(53,262千円)は、上記の意向調査業務委託費等(19,176千円)へ充当し、残額(34,086千円)は、木材利用を促進する事業費(公共施設の木質化等)に利用するため、森林環境譲与税基金に積み立てた。
岡山県	倉敷市	私有林整備	森林環境保全事業	386	386			市内で森林整備活動を行う町内会等の団体に対し、活動に必要な経費の一部を助成することで、森林の有する多面的機能の発揮を図る。	
岡山県	倉敷市	その他(森林整備)	治山事業関係経費	4,175	4,175			災害防止・国土保全機能強化を目的とした森林整備(風倒被害木の処理・治山施設修繕及び維持管理)を民間事業者に委託して実施。	
岡山県	倉敷市	森林・林業・木材普及活動等	環境学習推進事業	266	266			県内でゼロカーボンへの取り組みを実施している企業施設を見学するなど、市民を対象にした森林教育と自然とふれあう機会を創出する講座を開催。	
岡山県	倉敷市	木造公共建築物の整備等	まびふれあい公園建屋内装工事整備事業	23,842	11,921		11,921	まびふれあい公園建屋における内壁等仕上げ材として、国産材の竹を使用。建屋の完成は令和6年度。令和5年度は前払金として全工事費の4割相当額の支払いをしているため、竹内装仕上全体額のうち、前払金相当額に譲与税を充当。	
岡山県	倉敷市	基金積立	倉敷市森林環境譲与税基金積立	34,086	34,086		34,086	木材利用を促進する事業費等(木材を利用した公共施設の木質化等)を確保するため、森林環境譲与税基金へ積み立てた。	